

みんなで見守ろう！



子どもたちの安全・安心



あいさつ運動、 ことばをかけて見守る運動

市民総ぐるみで取り組む、いじめや虐待のない
あずましいまちづくり運動として、「あいさつ運
動、ことばをかけて見守る運動」を春休み明けに
実施します。登校時間帯に合わせて、自宅前など
での子どもたちへの温かい言葉掛けに、ご協力く

ださい。子どもたちが安心して過ごせる弘前であ
るために、ぜひ市民みんなで見守りましょう。

▼実施時間帯 午前7時15分～8時

■問い合わせ先 学校指導課（☎82-1644）

強化期間
4月7日（火）～10日（金）

新入学児童を 交通事故から守ろう！



4月は小学校へ入学する子どもの交通事故が多
発する時期です。入学したばかりの子どもたち
は、学校までの通学路をまだ安全に通行できませ
ん。また、自分自身では交通事故から身を守るこ
ともできません。子どもたちを交通事故から守る
ため、十分注意しましょう。車両を運転する際

は、交通ルールやマナー
を守り、安全運転に努め
ましょう。

■問い合わせ先 地域交
通課（☎35-1102）



保護者の皆さんへ

▶通学路を子どもと一緒に歩き、安全な通行方法を繰り返し
教えましょう。▶危険な場所、安全確認が必要な場所を子ど
もと同じ目線でチェックしましょう。▶「危ないよ」だけで
は子どもは何が危険なのか理解できません。具体的にどうし
たらいいのか、子ども自身にも考えさせましょう。▶保護者
自身が交通ルールを守り、良いお手本を示しましょう。

ドライバーの皆さんへ

▶住宅街や学校・公園の周辺などでは「飛び出し」に注意し、
徐行しましょう。▶横断歩道で渡ろうとしている子どもがい
たら、停止して横断を優先させましょう。

自転車乗車の皆さんへ

▶自転車は車道左側走行が原則です。「自転車通行可」の標
識がある歩道でも、歩行者を優先し、いつでも止まれる速度
で車道寄りを走行しましょう。▶自転車の危険行為の取り締
まりが強化されています。安全運転に努めましょう。

気を付けよう！ 電池の処分は適切に

燃やせないごみへ

●乾電池（マンガ
ン乾電池・アルカ
リ乾電池）



●リチウムコイン電池



一般社団法人 JRBC の回収協力店へ

●小型充電式電池（ニカド電池、
ニッケル水素電池、リチウムイ
オン電池）

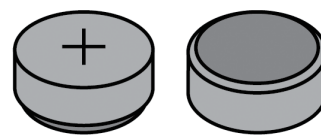
以下のリサイクルマークが目印



ボタン電池回収推進セ ンターの回収協力店へ

※リチウムコイン電池は回収し
ていません。

●ボタン電池

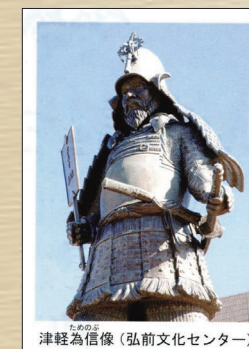


電池には行政回収できない種類があり、ごみ
処理施設での大きな火災につながる可能性が
ありますので、以下の内容を確認し、処分して
ください。

■問い合わせ先 環境課（☎35-1130）

弘前の偉人たち

第1回 津軽を支配し、藩政をしいた 津軽為信



津軽為信像（弘前文化センター）

津軽を支配していた南部氏は、津軽の要所に一族の
者や南部氏に従う武士をおいて、その立場を固めまし
たが、おさめる土地があまりに広大になり、次第に家
臣たちがばらばらな行動をとるようになりました。こ
のような南部氏の弱点をついて津軽統一に乗り出したのが、南部氏の家臣だ
った大浦為信（のちの津軽為信）です。

為信は1550年（天文19）生まれ。身長は
180cm以上もある大男で、戦国武将の中でも随一
の髭（ひげ）の濃さで知られ、あまりの髭の濃さ
から、家来たちは為信のことを「髭殿」と呼んで
いました。為信が10歳の時、伯父である大浦為

市立博物館が所蔵するお宝を、毎月紹介します。
■問い合わせ先 市立博物館（☎35-0700）

に特徴があり、「関羽図」
にもそれがよく表れて
います。全体的に線に
硬さが感じられるとこ
ろや、着衣の文様の精
密さ、金具部分は胡粉
（ごふん）を使って立
体的に盛り上げるなど、
細部に工夫が見られ
るところから、破笠の
職人気質な性分が想
像されます。

同作品は、4月4日
（土）より市立博物
館で開催する企画展
「津軽アーティスト
列伝」（本誌18ペ
ージに掲載）でご
覧になれます。



市教育委員会が発刊している「新・弘前人物志」
から、弘前が生んだ偉人たちを毎月紹介します。
みなさんが知らなかった偉人と、出会えるかも
しれません。

■問い合わせ先 教育センター（☎26-4803）

則（ためのり）にひきとられ、18歳のとき為
則の娘、戌姫（いぬひめ）と結婚し、その養子とな
ります。そのときから大浦為信を名のり、為則の
後を継いで大浦城の第5代城主となりました。

為信は、1571年（元亀2）に石川城を攻略し
てから1597年（慶長2）に浅瀬石城を落とす
まで、破竹の勢いで南部氏の領土を切り取り、津
軽統一を果たしました。

「弘前人物志」は、弘前が生ん
だ・傑出した人物を、中学生の
皆さんに知ってもらいたいとい
う目的で1982（昭和57）年
に初めて発刊されました。紹
介した人物をもっと詳しく知り
たい人は、「新・弘前人物志」を
ぜひ一読ください。

